

教育課程

教育課程とは、幼児教育として満3歳以上について共通のねらいと内容を持ち、資質・能力を育てる課程を表したもので、幼児教育と小学校以降の教育のつながりを明確にし、社会に開かれた教育課程の実現を目指すものです。年間39週以上、月曜日から金曜日までの5日間、1日4時間を標準としています。

⇒ 社会に開かれた教育課程の実現

社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を持ち、全体的な計画に含まれる教育課程を介してその目標を社会と共有します。

これからの社会を創りだしていく子どもたちが社会や世界に向きあい、かわりあい、自らの人生を切り拓いていくために求められる資質・能力とは何かを教育課程において明確化していきます。

教育課程の実施にあたって、地域の人的・物的資源を活用する、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図るなど、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させていきます。

⇒ 資質・能力、10の姿とのつながり

教育課程の作成の際は、各法人の理念に加え、「育みたい資質・能力」と「主体的・対話的で深い学び」を踏まえた目標を提示しましょう。また、「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を念頭に置いて、卒園までに園児がどのような力を育むのかを整理しましょう。